

橋梁整備事業・市道整備事業

アナ： 「市長が語る 2016 三島」第 13 回目今日は、橋梁整備事業と市道整備事業についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： まずは橋梁整備事業ですが、これはどのような事業ですか。

市長： 橋梁整備事業は、皆さんが普段通っている市道にかかっている橋について、三島市橋梁長寿命化修繕計画に基づいて修繕・架け替えなどの工事をしたり、定期点検などを行う事業です。

アナ： 今、「三島市橋梁長寿命化修繕計画」という言葉が出てきましたが、これは具体的にどのような計画なのでしょう。

市長： 市内の市道にかかっている橋のうち、重要な橋として選んだ 49 か所の橋について、老朽化などによる傷みがそれ以上進行しないよう、損傷が軽いうちに予防的に対策をしていこうという計画です。

アナ： なるほど、橋が傷んで通行できなくなる前に、修繕をして、橋を長持ちさせようとする計画なのですね。これまでに修繕した橋はいくつあるのですか。

市長： 平成 26 年度から順に工事をしております、市民体育館北側の神川橋（かんがわばし）や祇園橋（ぎおんばし）など、今年の 3 月末までに 8 箇所を修繕いたしました。

アナ： では、計画の対象外の橋については、どう対応されますか。

市長： 長さが 2 m 以上の橋については、5 年に 1 回の点検が法律によって義務付けられています。この点検の中で修繕が必要かどうかを判断し、必要に応じて修繕工事を行っていきます。

アナ： 橋の架け替え工事を行うのは、どのような場所ですか。

市長： 老朽化している橋や、河川の工事に併せて橋の架け替えを行うこともあります。昨年度は御殿川に架かる下御殿橋を、河川を管理する静岡県の工事に併せて架け替えました。今年度は、山田市民農園の脇を流れる山田川に架かる老朽化した橋の架け替えを予定しています。

アナ： 橋梁整備事業についていろいろお話を伺いましたが、次に、市道整備事業について伺いたいと思います。こちらはどのような事業でしょうか。

市長： 市道整備事業は、三島市が管理している市道について、安全と交通の利便性に配慮した、人に優しい道づくりを目指し、通行量や利用頻度等の優先順位を考慮しながら計画的に整備を進めるものです。また、老朽化が進む市道の不良箇所の早期発見に努め、安全で良好な状態に保つよう緊急修繕なども行っています。

アナ： 現在、どちらの道路を整備しているのですか。

市長： まず、都市計画道路西間門新谷線のうち、三島市部分にあたる市道平田新谷線を整備しています。清水町久米田の交差点から三島市平田の県道三島静浦港線との交差点までの間が、平成 27 年 3 月にまずは 2 車線で開通しました。今後はこの交差点から東側、国道 136 号に向かって事業を進めていきます。

また、遺伝研坂下から町田橋の間の市道錦田大場線は、錦田子ども園、錦田小学校などの通園・通学路でもあることから、子ども達が安全に通学できるよう、歩道の設置などの整備をしています。

その他の幹線道路や生活道路につきましても、地元からの要望に基づいて、計画的に道路や側溝、舗装の改良工事をしております。

アナ： 道路に見かける穴などもすぐに直していますよね。これも市道整備事業のひとつですか。

市長： はい。道路事故につながる陥没などは、早急に直して道路を安全に通行できるようにしなければなりません。平成 27 年度は緊急に行う修繕のうち、職員が行うものが年間約 1,800 件、工業者に依頼して行うものが年間約 840 件ありました。いずれにいたしましても、道路事故を未然に防ぐためには早期の発見が何より大切ですので、道路上に陥没などを見かけましたら、土木課まで連絡をお願いいたします。道路整備も含め、安全な道路を維持管理していくためには地元の皆様のご協力が必要不可欠ですので、お願いいたします。

アナ： 橋や道路の管理が計画的に行われていることがわかり安心しました。
豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。